

資料４： 行政協力の現状等の事例報告及び グループ討論について

厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全企画課

グループ討論について

■ 討論の時間（目安） 計 50 分

- ①紹介事例に関する意見交換・行政協力の方向性を検討（約 40 分）
- ②結果報告のポイントの整理や全体的な総括（約 10 分）

※上記はあくまでも目安ですので、各グループ内で議論の進捗に応じて時間配分を調整してください。

■ グループ討論の議題について

A～Fグループは神戸市の事例について

G～Lグループは名古屋市の事例について

森永ひ素ミルク中毒事件関係担当窓口課の職員として、どのような方向で行政協力を進めるべきと考えるか検討をお願いします。

具体的には、特に以下の観点について検討をお願いします。

- 被害者の特性や置かれている現状をどのように把握し対応すべきか
- 支援に関連する制度を担当する他部局の担当者などの関係者をどのように巻き込んでいくか
- ひかり協会との協力関係をどのように構築していくか
- 国（医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全企画課）とどのように関係していくか

■ 結果報告について

討論終了後、各グループから別紙様式にて討論結果を報告いただきます。（記録担当の方は、当課へご提出をお願いいたします。）

各グループの討論結果については、後日、全自治体へ共有させていただく予定です。

グループ討論における討論結果 【グループ○】

●被害者の特性や置かれている現状をどのように把握し対応すべきか

●支援に関連する制度を担当する他部局の担当者などの関係者をどのように巻き込んでいくか

●ひかり協会との協力関係をどのように構築していくか

●国（医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全企画課）とどのように関係していくか

●その他